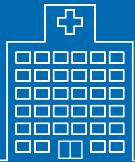


YOKA HOSPITAL NEWS

八鹿病院 ニュース



2013年
8月号

地域に暮らす人々と共に
心あたたかな医療をすすめたい



整形外科手術の様子

● yokahospital 「医療」

整形外科

- 新管理者ご挨拶
- 脳ドックと未破裂脳動脈瘤について
- 現場リポート！あなたの知らないかも知れない八鹿病院
「医療技術部 検査科」
- トピックス

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、
医の倫理を基本に、質の高い医療
と優れたサービスをもって、住民
の健康を守り、地域の発展に尽く
します。



当院は敷地内全面禁煙です
ご協力宜しくお願い致します

整形外科

今年4月の再始動以降、外来に加え手術や入院など多くの整形外科疾患の患者さんに対応しています。地域の皆様へ整形外科の元津医師、手島医師よりご挨拶いたします。



整形外科医師と
外来スタッフ

外来と手術の合間でも
カメラを向けると笑顔に。
地域の皆様、よろしく
お願いします！

※研修医の山本医師は7月末で整形外科の研修を終了しました。



神戸市でのDMAT研修に参加した手島医師(上段中央)と看護師・薬剤師・事務職員。
大災害に備えスキルアップに努めます。



健康づくりの一環として整形外科の身近ながけ・病気のメカニズムと治療法を養父市の各地域で講演する元津医師。



部長 元津 康彦

医師を養成し、京都・神戸と同じ

整形外科的サービスを提供することが目標

私は、昭和60年に京都大学を卒業し、今まで5箇所の病院に勤務してまいりました。当院に赴任したきっかけは、平成4年から平成10年まで兵庫県立尼崎病院に勤務してました時の上司で、現・日高医療センター顧問の芦田一彌先生から、八鹿病院に常勤の整形外科医があらず困っている地域の現状を聞き、何とか力になつてくれないかと依頼を受けたことです。

前任地の洛和会音羽病院（京都市）では、整形外科部長として14年半勤務してまいりました。今でも多くの病院は、「〇〇大学の関連病院」という肩書きがあります。洛和会音羽病院は、医局から医師の派遣制度が始まつてから入局者が減少し、音羽病院は医師を派遣してもらえなくなりました。そこで、私は自分で医師を獲得し、養成することにしました。平成24年度には整形外科の医師数が9名になり、京都市内の整形外科では、おそらく一番の手術件数を誇る病院に成長しました。この度、かつての上司である元津先生からの誘いを受け、これまで学んできたことを生かしたいと思い、当地へ赴任することになりました。

会音羽病院整形外科も京都大学の関連病院でした。通常、関連病院というのは、医局から医師の派遣がありますが、新医師研修制度が始まつてから入局者が減少し、音羽病院は医師を派遣してもらえなくなりました。そこで、私は自分で医師を獲得し、養成することにしました。手を貸してくれている手島先生も、骨折治療が得意です。病院勤務医ですので、できれば入院が必要な患者さんの治療に重点を置いて診療したいと考えてあります。よろしくお願い致します。

私の出身は兵庫県宝塚市で、大学から京都に移り、研修医時代は福岡、整形外科医となつてからは再び京都と、各地を転々としてきました。昨年1年間は東京の大学病院で救急受診される患者さんの整形外科診療に携わつていました。この度、かつての上司である元津先生からの誘いを受け、これまで学んできたことを生かしたいと思い、当地へ赴任することになりました。

医長となり、また当院のD.M.A.T（ディーマット・災害医療援助チーム）の一員として参加する機会にも恵まれ、自分の未熟な点を痛感させられます。日々ですが、患者さん一人ひとりに丁寧な医療を届けられるよう精一杯頑張りますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

医長 手島 隆志

患者さん一人ひとりに
丁寧な医療を届けたい

丁寧な医療を届けたい

せんが、最近趣味として乗るようになつた自転車で遠出したいと思います。整形外科は、膝痛や腰痛といった日常生活に直結する問題から事故や災害、救急まで対応できることが魅力だと感じています。

医長となり、また当院のD.M.A.T（ディーマット・災害医療援助チーム）の一員として参加する機会にも恵まれ、自分の未熟な点を痛感させられます。日々ですが、患者さん一人ひとりに丁寧な医療を届けられるよう精一杯頑張りますので、ご指導、ご鞭撻の程宜しくお願い致します。

新管理者 ご挨拶

八鹿病院組合の現状

ほそかわ ゆうへい
管理者 細川 裕平

公立八鹿病院や村岡病院は長い歴史をもっており、在宅診療の展開など地域に根付いた医療福祉を提供してきました。歴史ある八鹿病院組合管理者への着任にあたりご挨拶を申し上げます。

公立八鹿病院



八鹿病院組合の現状

この4月から、整形外科の3年ぶりの再開などもあり活気がもどりつつありますが、改めて経営体质を点検し、体质改善をしたいと考えています。今後、臨床研修制度下の卒後10年目程度の若手医師が八鹿、村岡病院の基本理念・方向性をみて応募したくなる病院を目指したいと考えています。

現状から具体的対応へ

具体的に少子高齢化を踏まえ「多くの方が亡くなられる」という多死傾向や、疾病状況変化、診療所等の改廃など地域状況変化による変化も想定し、既策定改革プランの「地域の医療需要を調査し必要とされる診療科の充実を目指す」に従い関係医療機関と役割（機能）分担を行います。あわせて経営悪化に対応するため構成員1人1人が危機意識を持つようになたいと思っています。そのために職員だけでなく市民の皆様の御意見をお聞きしたいと思っています。

八鹿病院組合は構成市町の住民

将来の夢と希望

今年4月に入材育成センターを設置し、「若い人」と「国際化」により但馬と世界が直結してもらいたいと考えています。このような体制は、100年以上も前に養父市宿南の青谿書院で池田草庵さんのもと実現しており、673名の門弟から明治維新後の社会を背負うことになる、学問・行政・経済界など多くの異なる分野の逸材

合意のもと病院経営等を推進していますが議会や市民・町民の皆様に丁寧な説明に努めます。人は生は、生老病死とも表現されており、すべての住民が最終的に患者になりますので、患者さんのための病院とも言えると思っています。高齢の患者さんについては、一人で複数の疾病を持つことから、一つには病院間で片方が診療体制を持ち重複をあく医療機能を棲み分けることや、二つには1人の患者さんのすべてに責任を持つように集中治療などの医療分野も含まれていると考えて、バランスをとつて対応したいと考えています。

私たちの最終的な目標は、地元住民の方々の信頼を得ることですが、我々の理念を実現することができれば、近畿北部や日本だけではなく国際的なレベルで評価を得ることができます。理屈の実現には時間がかかりますので、「今の構成員が意識を変え若い人の成長を望むこと」で、若い人にこの夢の未来を託すことが必要だと思っています。

「患者さんのために」を合言葉に、職員一人一人が夢と希望を持ち、お互いの職種や個人に尊敬と感謝をもち、特に若い人を大切にすることで病院の継続と自立ある存続につなげたいと思っています。皆様のご支援を得て夢と目標を持って頑張りますのでどうぞよろしくお願いします。

が輩出しました。ここ養父市八鹿・村岡で生活を共にしながら若い人が各分野の優れた医療人材として世界に輩出できる環境の構築を夢に描いています。

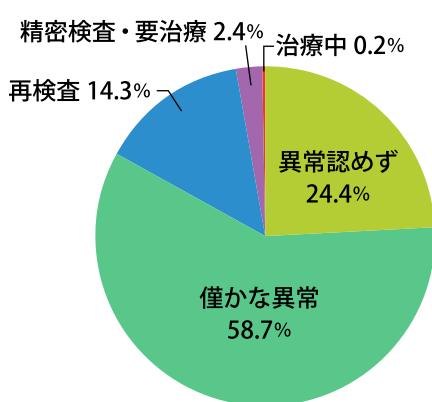
脳ドックと未破裂脳動脈瘤について

副院長 脳神経外科 福森豊和

■脳ドック受診者年度別集計

| 受診数(人) | 男女別(人) | | 平均年齢(歳) | |
|--------|--------|-----|---------|------|
| | 男 | 女 | 男 | 女 |
| H 22 | 184 | 128 | 56 | 55.5 |
| H 23 | 148 | 105 | 43 | 57.4 |
| H 24 | 159 | 105 | 54 | 58.1 |
| 合計 | 491 | 338 | 153 | 57.1 |

【検診結果(H22-H24)】

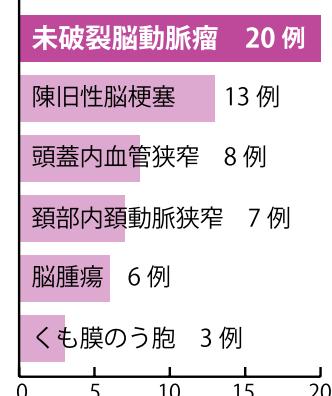


精査検査・要治療 2.4% 治療中 0.2%
再検査 14.3% 異常認めず 24.4%
僅かな異常 58.7%

この疾患に焦点を当てるお話しします。

当院は、平成21年11月より脳ドックを再開し、平成24年4月に日本脳ドック学会認定施設となりました。年度別の集計を左の表にまとめますと、男女比は2・2対1で男性に多く、平均年齢は男性57・1歳、女性55・4歳とほぼ同様でした。結果は、「異常を認めず」が24%、「僅かな異常」が59%ですが、「再検査や精密検査・治療を必要とする」なども17%ありました。「異常がない」ことの確認が受診の動機であるにも関わらず、隠れた病気が発見された場合の精神的なストレスは大変大きいと推察されます。安全で安心していただけるフォローをする事がドック医の使命と考えます。発見された2ミリ以上の未破裂脳動脈瘤は20例(対総数割合は4・1%)で、この疾患に焦点を当てるお話しします。

【新規診断結果(H22-H24)】



手術による死亡率はほぼゼロ、合併症は2・12%と報告されていますが、障害には軽度の認知機能の低下や症状のない画像異常は含まれていません。手術は、開頭して

◆外科手術とリスク評価

脳の動脈にできたコブのことと言います。高い死亡率で知られるくも膜下出血の大半は脳動脈瘤の破裂によるものです。破裂しやすい因子として、動脈瘤側では、大きさ、瘤壁の突出(娘瘤)、その部位があり、患者側では、喫煙、高血圧症、家族内集積性が指摘されています。大きさと破裂率の関係では、7ミリ以下では年間0・5%以下とか、5ミリ未満で0・54%とする報告があります。瘤全体の年間破裂率は1・9~2・7%です。

◆未破裂脳動脈瘤とは

脳の動脈にできたコブのことと言います。高い死亡率で知られるくも膜下出血の大半は脳動脈瘤の破裂によるものです。破裂しやすい因子として、動脈瘤側では、大きさ、瘤壁の突出(娘瘤)、その部位があり、患者側では、喫煙、高血圧症、家族内集積性が指摘されています。大きさと破裂率の関係では、7ミリ以下では年間0・5%以下とか、5ミリ未満で0・54%とする報告があります。瘤全体の年間破裂率は1・9~2・7%です。

◆ガイドラインと受療者 術者の心理状態



動脈瘤の頸部を金属クリップで閉鎖する「開頭クリッピング術」が68%、足の太い動脈からカテーテルを通して細いコイルを動脈瘤に詰め血栓化させる「血管内治療」が32%で、体への負担が少ない血管内治療が年々増加しています。

原則として患者さんの余命が10年以上あり、大きさが5~7ミリ以上の場合は医師から治療のお話をします。治療を受ける側の視点では、身近な人にもくも膜下出血があつたり、医師や病院が信用できるかが重要な判断基準となります。また、診断され治療に至るまでの過程で少なからずうつの傾向が現れます。治療により改善すると示されています。私たち医師にとっても、治療に際し合併症の発生が無いのが当たり前の状況のもと、思い悩むこともあります。受けたよかつたと満足していただけた脳ドックを進めてまいりますのでご利用下さい。



現場リポート！『あなたの知らないかもしれない八鹿病院』

医療技術部 検査科



当院の検査科は、迅速で正確な検査報告で医師の診療をサポートしています。

臨床検査であなたの健康を守りたい！

当科では、人体すべてを対象にしたあらゆる臨床検査を実施しています。検査は、血液・尿・分泌物・組織材料等を観察し分析する検体検査、心電図やエコー検査など生体の機能や形態を調べる生理検査に大別され、さらにその中にもさまざまな検査部門があります。現在、

臨床検査技師20名が各部門に分かれ業務にあたっています。患者さんの生体や提出された検査材料をいろいろな機器を使い、技師自らの技術を用いて得られた臨床データを、正確に一刻も早く医師に提供することで健 康づくりのお役に立ちたいと日々努力を続けています。

また、栄養サポートチームや糖尿病教室などチーム医療に参画し、他職種との連携を深めたり、腹部や乳腺、子宮がんなどの住民検診事業においても成果をあげています。

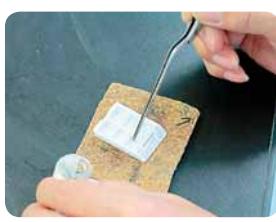
検査の分野も日進月歩で新しい検査がどんどん出てくるので、学会や研修会に参加し学んでいます。検査によつては患者さんと直接お会いしない部門もありますが、「目の前の検査の向こうには患者さんのがいらっしゃる」ことを念頭に置き、今後も業務に励んでまいります。

胃カメラで採られた組織の検査方法「病理組織検査」



胃カメラで組織を採取する

採取された組織は、確実な診断につながるようさまざまな工程を経て観察用の標本になります。



ホルマリンに漬けられた組織片を専用容器に移す



組織片を薄く切れるように処理する



パラフィン(ろうの原料)で組織片を固める



病理医が標本をみて診断し診療科に報告する



染色する



ガラス板に貼り付ける



約3マイクロメートル
(0.003ミリ)の薄さに切る



検査科の見えないチカラ！影のサポート隊

検体検査

血液検査



血液細胞の数や形態、凝固能を調べ、貧血・炎症・出血傾向があるか調べます。

尿検査



尿中の糖・蛋白・潜血・細胞などを顕微鏡や試薬を使って調べます。

生化学検査



血糖値・コレステロール値・電解質などの血液中成分量を調べます。

微生物検査



病原微生物を検出し、どの抗菌薬に効果があるかを調べます。

輸血検査



血液型を調べたり、輸血製剤が患者さんに適合するかどうかを調べます。

細胞診検査



病気による細胞の形態的変化やある種の感染症があるかを調べます。



笑顔と声かけで安心感を！検査の窓口部隊

生理検査

心電図



狭心症、心筋梗塞、不整脈などを発見する手掛かりになります。

人体そのものを対象とする検査で、いろいろな装置を使い心臓・肺・神経など臓器の機能や形態を調べます。臨床検査技師が直接患者さんに関わる検査です。

平衡機能検査



めまいの訴えがあるとき、その原因、程度を調べます。

エコー検査



超音波で体の中の臓器や血管の状態を調べます。

トピックス

京都大学副学長・医学部附属病院長・呼吸器内科教授
みしま みちあき
三嶋理晃氏講演会

「COPDの最新の話題」

慢性閉塞性肺疾患

当院呼吸器科 塩田哲広医師より地域の皆様へ

私が京都大学三嶋理晃副学長室を訪問したのが本年3月11日の事でした。訪問の理由は公立八鹿病院呼吸器科を京都大学呼吸器内科の関連病院の一員に加えていただけないかというお願いにあがった次第です。三嶋教授はその場で快諾され、一度病院を訪問させてほしいとの依頼をうけました。関連病院にしていただけるとはいったものの、さすがに一度も訪問したことのない病院であり一抹の不安もあったのだと思います。

去る7月2日に京都大学呼吸器内科同門会の理事会が開催され正式に当院呼吸器科が京都大学呼吸器内科の関連病院になることが承認されました。そして三嶋教授が当院にて講演されます。昨年、京都大学呼吸器内科同門会の援助を受け当院呼吸器科寺下聰先生が12月14日～16日に香港で開催されたアジア太平洋呼吸器学会で発表されました。これを機会に京都大学と当院の人事交流が更にはかられ、この地域の医療の充実に少しでも貢献できればと考えています。

当日は地域医療に関するミニ座談会も開催する予定です。また三嶋先生は非常に気さくな先生ですので、その人柄に接していただくいい機会もあります。ご多忙の折とは存じますが、多数の方のご参加をお待ちしています。

「たばこ病」とも呼ばれる
COPDの講演会です。
皆様、お気軽にご参加ください!



**平成25年
9月19日(木)**

午後5時～午後6時30分

【場所】
公立八鹿病院 講堂（3階）

【対象】
医療関係の方・一般の方

【共催】
公立八鹿病院 養父市 香美町

(お問い合わせ)
公立八鹿病院 総務課

7月9日 第40回院内七夕コンサート開催!

35度近い気温が続く中、当日には多数の方にご参加いただきました。今年は、看護専門学校22期生、当院患者会の楽歌の会の皆さん、八鹿病院合唱団による合唱、そして、兵庫医科大学病院の研修医の先生のピアノ演奏もお楽しみいただきました。

今年の七夕コンサートも、患者さんやご家族、スタッフなど、笑顔がたくさんあふれる楽しいコンサートとなりました。



医師異動のお知らせ

【退任医師】～お世話になりました～
※森田先生、島田先生にはひきつづき非常勤としてお世話になっています

平成25年3月31日付 【内科】島田 ひかる
平成25年4月30日付 【内科】森田 龍親

発行

公立八鹿病院 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878番地 1 TEL. 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

